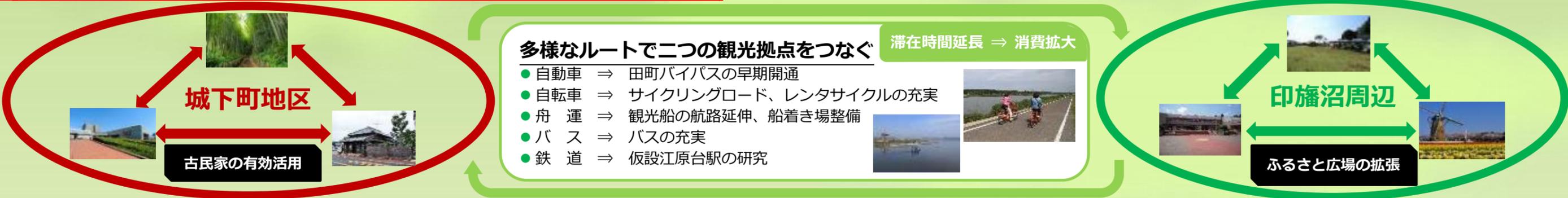


(基本理念) 歴史の趣き、自然の恵み 『となりの観光地・佐倉』 ～気軽に、繰り返し、楽しめるまち～

城下町地区

印旛沼周辺



多様なルートで二つの観光拠点をつなぐ

滞在時間延長 => 消費拡大

- 自動車 => 田町バイパスの早期開通
- 自転車 => サイクリングロード、レンタサイクルの充実
- 舟 運 => 観光船の航路延伸、船着き場整備
- バス => バスの充実
- 鉄 道 => 仮設江原台駅の研究

印旛沼周辺

ふるさと広場の拡張

1. 観光を取り巻く現況

① 低い地域経済循環率

- 市民の所得が市外に流出

佐倉市	64.5%
千葉県	83.6%

⇒市民の観光消費促進も必要

② 恵まれた立地条件

- 成熟したマーケット(八千代・印西・千葉・四街道などの近隣市)
…人口約 164 万人
 - 都心からの良好なアクセス
…自動車・電車で約 60 分
 - 成田空港に近接
…自動車・電車で約 20 分
- ⇒ターゲットの絞り込みが必要

③ ニューツーリズムの進展

- サイクリストの増加
…スポーツ自転車販売台数 10 年間で倍増
 - ヘルスツーリズムに対する関心度
…約 58%が興味あり
- ⇒新たな観光志向の取込が必要

④ 低い市外からの認知度

- 都内でのアンケートにおける認知度…33% (KITTE 及びスカイツリー)
※66%が佐倉市に行ったことがない、もしくは知らないと回答。
- ⇒認知度の向上が必要

⑤ 繁閑の差が激しい観光施設

- 佐倉ふるさと広場
…4月、7月、10月に年間の50%以上が来場
 - 佐倉草ぶえの丘
…5月、10月に年間の約40%が来場
- ⇒閑散期における集客が必要

⑥ 関係機関との連携不足

- 観光協会、商工会議所、交通事業者、宿泊事業者等との連携不足
 - 観光客の視点の不足
…意見交換会において多数の意見
- ⇒関係機関との連携強化が必要

2. 基本方針及び主な施策

※実施の可否については今後要検討

基本方針①

観光消費を喚起する取組推進

観光Wコア構想

- **二つの核となる観光拠点整備**
⇒消費につながるインフラ整備
 - 古民家の有効活用(飲食・宿泊等)
 - ふるさと広場の拡張(飲食等)
- **滞在時間を延ばし、消費を拡大する取組の推進**
 - 二つの核をつなぐインフラ整備(アクセス道路・道の駅等)
 - コト消費=体験ツアーの造成(侍、農業、スポーツ等)
 - 新図書館を核とした回遊性向上
 - 空き店舗対策や景観整備

等

基本方針②

明確な【ターゲット】戦略

『3つのとなり』
 まちのとなり…市民、近隣
 都心のとなり…都内
 日本の玄関のとなり…インバウンド

- 市内西部地区や八千代、印西、千葉等の近隣市へのアプローチ
 - 市内へのバスツアーの誘致
- 都内に向けた集中的アプローチ
 - 企業研修やサークル・ゼミ合宿誘致の為の営業強化
 - 23区内・羽田空港におけるPRイベントへの参加
- 成田空港・幕張メッセを活用したアプローチ
 - 成田・幕張・市内の宿泊・交通事業者と連携した商品造成

等

基本方針③

観光客来訪のシステム化

誘客、リピートのシステム化
 …企業研修、各種合宿
 ニューツーリズムの促進
 …サイクル、グリーン、ヘルス

- 誘客、リピートのシステム化
 - 企業研修やサークル・ゼミ合宿等の誘致 [再掲]
- 日本遺産、印旛沼などを活かしたニューツーリズムの促進
 - サイクル(印旛沼)、グリーン(農業)、聖地巡礼(弱虫ペダル等)、スポーツ(岩名運動公園)、フラワー(ふるさと広場・草ぶえの丘)
 - 大型イベントの誘致(ツール・ド・チバ等)

等

基本方針④

戦略的な情報発信と営業強化

年間計画の策定…キャンペーン期間
 ICTの活用…SNS、HP
 ターゲットへの営業強化
 …直接訪問、DM、商談会

- 年間計画の策定
 - 市内・観光協会・県等と連携したキャンペーン期間の設定
 - 繁閑の差を意識したキャンペーン期間の設定
- ICTを活用した情報発信
 - SNS等の活用、HPの充実(予約機能・多言語等)等
- ターゲットへの営業強化
 - 直接訪問、DM、商談会等

等

基本方針⑤

関係機関等との連携強化

交通事業者・宿泊事業者との連携
 …鉄道、バス、LCC、ホテル
 市民・関係事業者との連携
 …個別テーマに関する検討会の設立

- 交通事業者・宿泊事業者等との連携
 - 成田・幕張・市内の宿泊・交通事業者と連携した商品造成 [再掲]
- 市民・関係事業者との連携
 - 個別テーマに関する検討会の設立(サイクリング活用研究会の設立等)
- その他関係機関との連携強化
 - 国、県、周辺自治体、国立歴史民俗博物館、千葉コンベンションセンター、市内観光事業者、工業団地等

等

